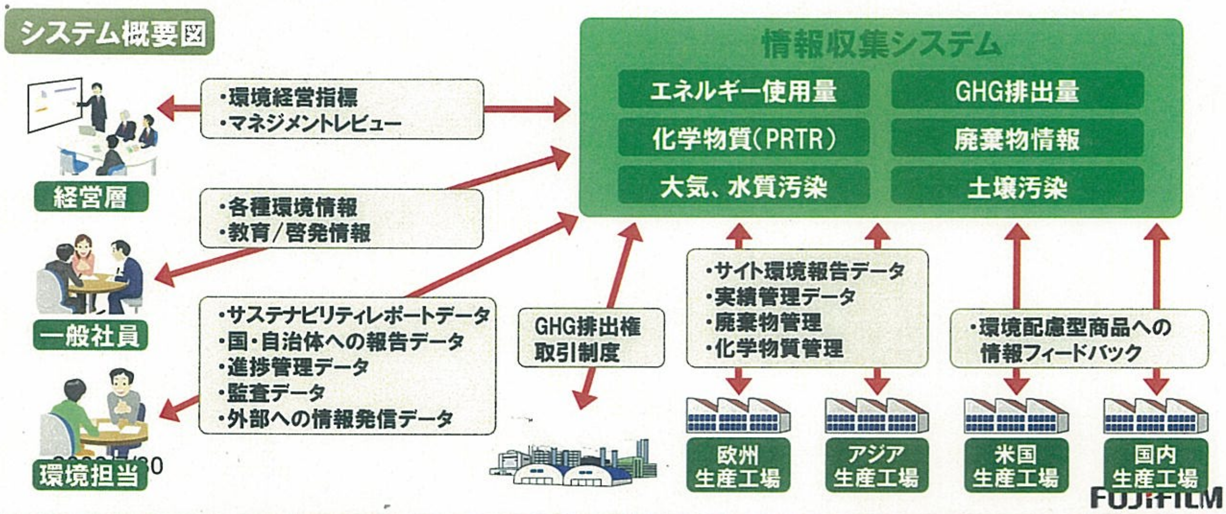
環境情報は、システムを活用して収集(2)

システム概要

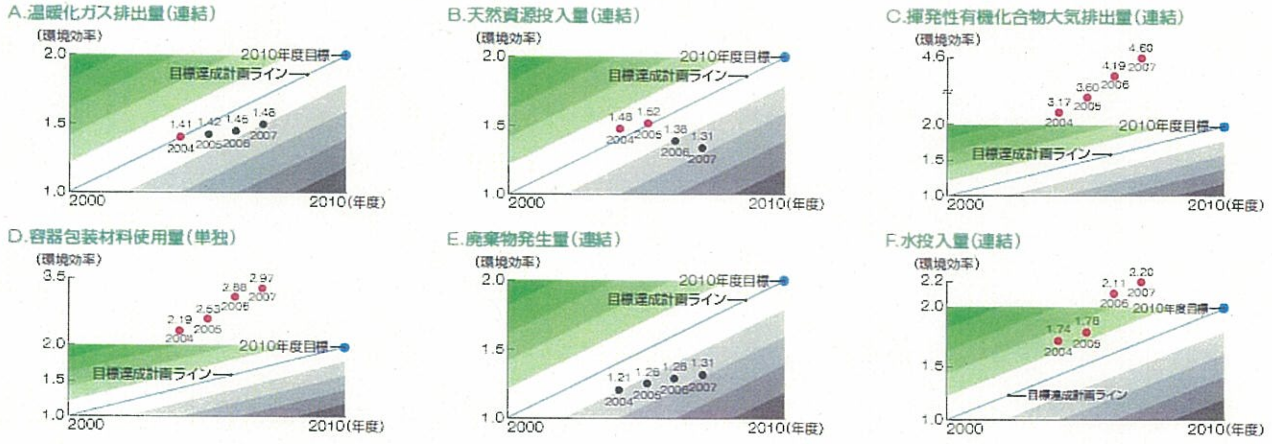
弊社は、「グリーン・ポリシー(グループの環境方針)に基づき重要実施事項を設定し、それらの環境情報等をインターネットを介して収集、集計するためのシステムを導入している。
集計した情報やデータは一元管理され、サステナビリティレポートなどへの記載、国や自治体など行政への報告情報として有効活用し、集計データを経年管理、経年分析を行っている。



FUJIFILM

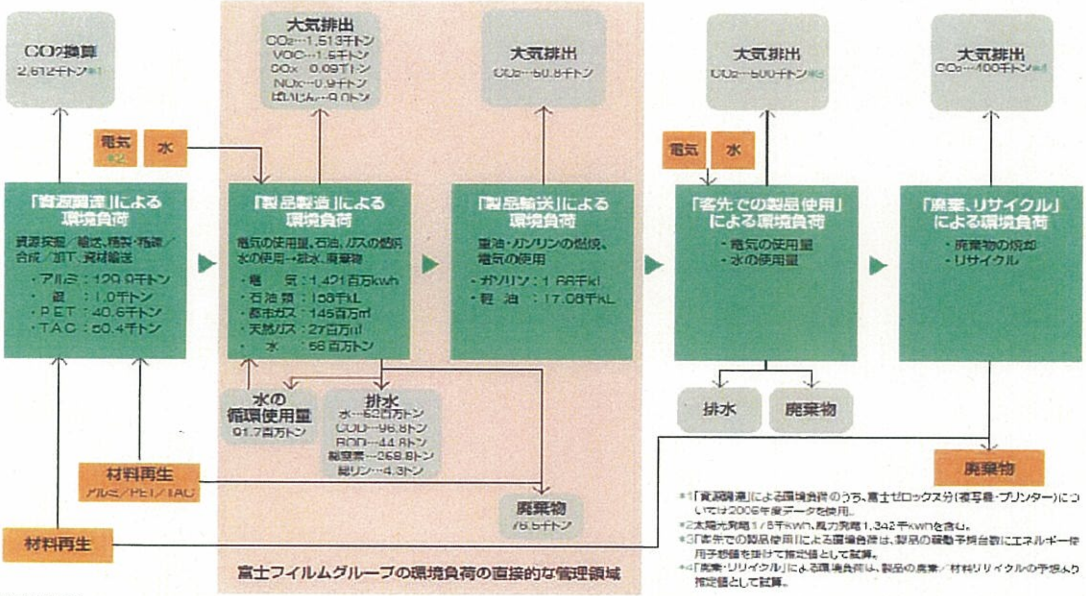
環境パフォーマンスデータの有効活用(1)

- 環境効率(2004年度～2007年度までの推移)



環境パフォーマンスデータ の有効活用(2)

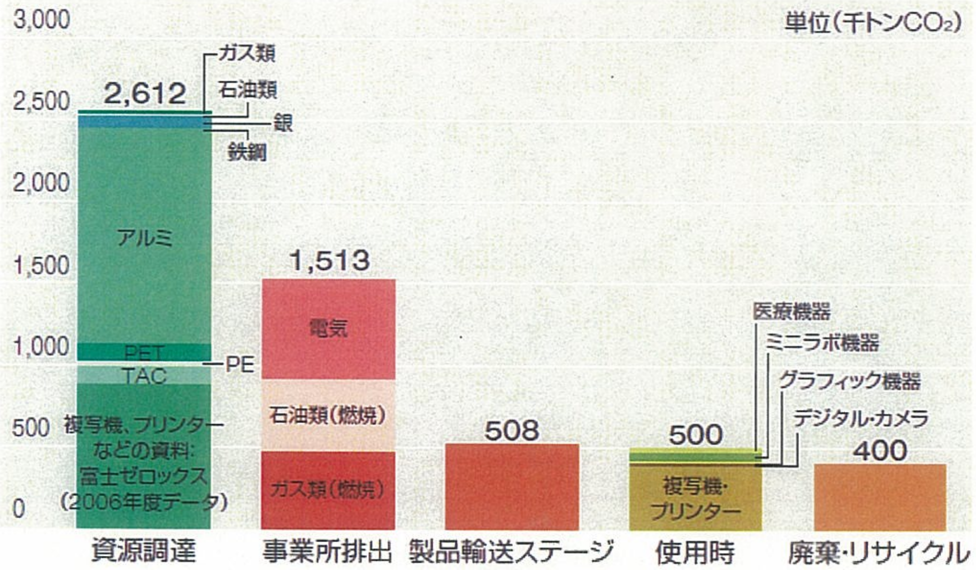
- マテリアル・フロー(2007年度)



※1「資源調達」による環境負荷のうち、富士ゼロックス分(複写機・プリンター)については2006年度データを使用。
※2太陽光発電1/8千kwh、風力発電1,342千kwhを含む。
※3「客先での製品使用」による環境負荷は、製品の稼動予測台数にエネルギー使用予想値を掛けて推定値として試算。
※4「廃棄・リサイクル」による環境負荷は、製品の廃棄/材料リサイクルの予想より推定値として試算。

環境パフォーマンスデータの有効活用(3)

- 環境負荷のLCA分析(2007年度:CO2排出量)



環境ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃﾞｰﾀの有効活用(4)

- 環境会計

(金額単位：百万円)

環境保全コスト					環境保全効果					
	設備投資		費用		社内への経済効果			社外への経済効果		
(年度)	2006	2007	2006	2007	(年度)	2006	2007	(年度)	2006	2007
1. 事業エリア内コスト	8,239	8,298	16,672	15,497						
①公害防止	5,625	5,215	6,129	6,722	汚染賦課金の削減	−2	−2	SOx排出削減＊1	1	11
								SOx排出削減量	28トン	273トン
								NOx排出削減量	−219トン	−121トン
								VOC排出削減＊2	56	2
								VOC排出削減量	159トン	5トン
②地球環境保全	2,408	2,751	5,276	4,768	省エネルギー	−2,111	−132	CO_2排出削減＊3	−147	134
								CO_2排出削減量＊3	-54千トン	39千トン
③資源循環	206	332	5,267	4,007	原材料削減	17,740	13,139			
					水資源削減＊5	522	561			
					回収・リサイクル			リユース・リサイクルによる産業廃棄物削減＊4	9,590	9,993
					銀	3,243	3,351			
					高分子材料	944	1,481	削減量	95.9千トン	99.9千トン
					アルミ材料	1,857	2,168	アルミ原材料の再利用	—	137
					その他	2,852	339	CO_2排出削減量＊3	—	4万トン
2. 上・下流コスト 市場からの回収	344	37	12,009	10,876	「写ルンです」回収	1,711	89			
					下取り機器からの部品回収	10,733	10,369			
3. 管理活動コスト	310	167	11,320	11,040						
4. 研究開発コスト	1,333	1,787	20,057	20,442	液晶ディスプレイ用フィルム			お客様への効果の詳細は上表に記載しました。	37,652	82,491
5. 社会活動コスト	0	63	236	147						
6. 環境損傷対応コスト 汚染賦課金	11	0	97	72						
合計	10,237	10,352	60,391	58,074		37,489	31,363		47,152	92,768

政府に、期待すること(1) ～ﾃﾞｰﾀについて～

- ﾊﾞｳﾝﾀﾞﾘの設定基準（特に、環境分野）
  - ・連結対象でない会社を集計対象に含めるべきか？（含めるべき会社の規模、ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽの種類は？）
  - ・M&A等による企業規模の変動の考慮
- 業種別の比較可能性
  - ・サービス業と製造業では、環境負荷が違う
- 経年変化
  - ・単年度のﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ比較で、努力は伝わるのか？
- 国際的な視点と国内の視点の違い
  - ・収集・開示する項目の重要性が異なる